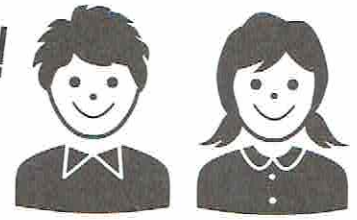


やると決めたら早く実施を！



小学校のような安全で

温かく美味しい給食を！



「宇治市の中学校給食の
実現をめざす会」

ニュース

2018年 夏・秋号

宇治市の中学校給食 Q & A

私たち「宇治市の中学校給食の実現をめざす会」では2回（2014年12月・2017年1月）の署名に取り組み、たくさんの方々にご賛同・ご協力いただきました。「宇治市でも中学校給食の実施を！」との市民の声に押され、教育委員会も中学校給食を実施することを2017年1月に決定しました。実現へ動き出したことはとても嬉しいことです！

けれど、そこから1年半以上たちますが、いまだ実施の具体化がされていません。実施のスピードアップとともに、子どもたちの成長を第一にした、安全で美味しい給食の実施を求めています。

Q1 それで、いつ始まるの？

実は 開始時期はまだ何も決まっていません。教育委員会は、『検討委員会』を7月からスタートさせ、1年半かけて給食の実施方法などの検討・まとめをして、その後実施に向けた計画づくりをしております。なので、実際に給食がスタートするのはいつなのか、いまだ不明です。子どもたちの成長は早く、あっという間に大きくなってしまいます。こんなゆっくりでは困ります！「やると決めたら早く実施を！」と、今声を上げていく必要があります。



Q2 「小学校のような」って

どういうこと？

私たちが

行ったアンケートでも小学校の給食は「美味しい」と子どもたちや保護者からも好評。宇治市の小学校給食は自校方式なので、温かいものは温かいまま、冷たいものは冷たいまま、子どもたちのもとへ。また、七夕・クリスマスなどの行事食、宇治茶をつかった料理やオリンピックの時期には開催国の伝統料理の献立など、食育も充実。子どもたちの顔が見える距離だからこそ、アレルギー対応などもきめ細かに。中学校でも同じ水準の給食が行われることを私たちは望んでいます。



Q3 食材などの安全面は？

小学校の 給食では食材の選定にも市が責任を持っています。「宇治市学校給食会」が設置され、栄養教諭も加わり、給食に使う食材の選定と購入を行っています。国産のものを、お米は京都産を（地産地消）、など安全にこだわった選定がされています。毎月産地が宇治市のホームページでも公表されています。中学校給食も小学校と同じように市が責任を持って安全面を保障する仕組みにすることが大事です。



コラム①

給食の実施方法には様々あります。いくつかの方式を組み合わせる自治体もあります。コストだけに視点を向けず、小学校と同じ水準を維持できる実施方法にしてほしいですね。

- 自校方式 ⇒ 各学校内に調理場があり、学校の分のみを調理する方法。
- 親子方式 ⇒ 近くの小学校（親）で調理した給食を、調理場のない中学校（子）に運ぶ方法。
- センター方式 ⇒ 複数の学校の給食を1ヶ所の設備（センター）で調理して、各校に運ぶ方法。
- デリバリー方式 ⇒ 民間業者が自分の設備でつくった給食やお弁当を学校に運ぶ方法。

宇治市の中学校給食の実現をめざす会

- ◆TEL 0774-22-5923
- ◆Mail yellmamapapa@yahoo.co.jp
- ◆ホームページ(フェイスブック)
<http://www.facebook.com/ujikyusyoku/info>
- ◆住所 宇治市宇治壱番107
(「新日本婦人の会宇治支部」方)

コラム②

市内の小中学校では、13校は民間の業者が調理していますが、残り7校は宇治市の直営です。このことが、宇治市全体の学校給食の質を保つ上で大きな役割を果たしています。民間業者が倒産し、次の業者が決まらなかった時も、直営の学校から職員を派遣して、給食の提供が行えました。